

## ケアファームの効果についてはより多くのエビデンスが必要である



ケアファームによって生活の質（QOL）が改善するという量的なエビデンスは不足しているが、うつや不安を改善するというエビデンスがいくつかある。

### このレビューの目的は何か？

このキャンベル系統的レビューでは、さまざまなサービス利用者のグループにおける生活の質（QOL）、うつ、不安に対するケアファームの影響を検討している。また、ケアファームが異なるグループに有効に働く可能性についての検討および説明も行っている。

ケアファームでは農業の実践を治療のために用いることである。ファームは高く評価されているが、その効果に対するエビデンスは限定的である。

### このレビューでは何を検討したのか？

ケアファーム（またはソーシャルファームと呼ばれる）は、農業の実践を治療のために用いることである。ケアファームの支援を受けるサービスの利用者やコミュニティには、学習障害、精神的・身体的な健康問題をもつ人、物質乱用をしている人、罪を犯した成人、社会に不満をもつ若者、社会的に孤立した高齢者、長期間無職の人というような人たちが含まれている。また、ケアファームが異なるグループに有効に働く可能性について検討および説明を行うことも目指している。

このレビューの目的は、さまざまなサービス利用者のグループにおける、生活の質（QOL）、うつ、不安への影響を理解することである。

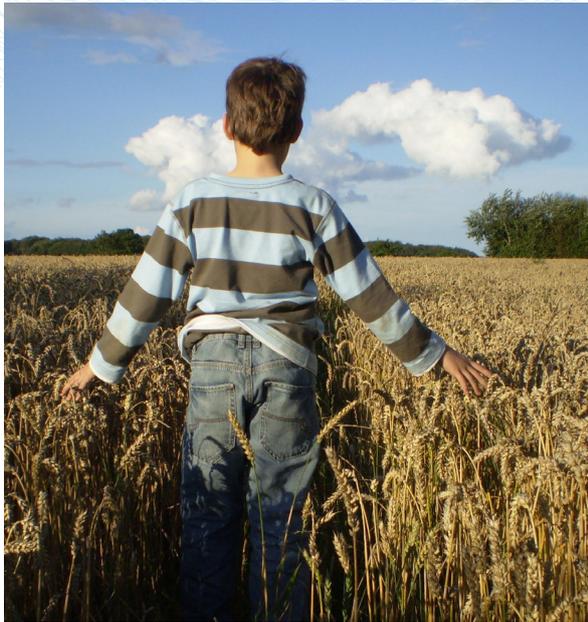
### このレビューにはどのような研究が含まれているか？

このレビューには無作為化比較試験（RCT）と準無作為化比較試験、分割時系列による非無作為化比較の観察研究、無統制の介入前後比較研究、質的研究が含まれている。研究参加者は、通常、ケアファームで支援を受けている人たちであった。このレビューには、ケアファームの一般に認められた定義に合った環境で行われた研究が含まれているが、病院や刑務所の環境で行われたファームの介入は除外された。

このレビューに含まれる研究の合計数は、18件の質的研究、13件の量的研究、1件のミックスドメソッド研究である。

### このレビューの結果は何か？

質的なインタビュー研究では、参加者がとりわけ、互いに接触すること、達成感、充実感、帰属意識があることを高く評価している、ということが示された。いくつかのグループは、異なる点を好んでいるように思われるし、さまざまなグループがさまざまな態様で利益を得る可能性が示唆されているが、これが活動のタイプにおける違いによるものか、同じ活動でも異なる点を評価しているためであるのかは明確ではない。



### このレビューはどれくらい最新のものか？

このレビューの著者らは2017年末までに発行された研究について調査した。

### キャンベル共同計画とは何か？

キャンベル共同計画とは、系統的レビューを公表する、国際的、任意的、非営利の研究ネットワークである。本組織は、社会科学や行動科学の領域における取り組みのエビデンスを要約し、その質を評価している。本組織の目的は、人々のより良い選択とより良い政策決定を支援することである。

### この要約について

この要約は、Murray, J, Wickramasekera, N, Elings, M, et al. The impact of care farms on quality of life, depression and anxiety among different population groups: A systematic review. Campbell Systematic Reviews. 2019; 15:e1061. <https://doi.org/10.1002/cl2.1061>に基づいている。

この要約に対してはAmerican Institutes for Research for the productionより財政支援を受けた。ここに謝意を表す。

ケアファームが生活の質(QOL)を改善するという量的エビデンスは不足しているが、うつや不安を改善する可能性があるというエビデンスはいくつかある。ケアファームによる利益に関する決定的なエビデンスを明らかにするためには、単一のサービス利用者のグループを用いて十分に実証的な結果測定を行うような、より大規模の研究が必要である。

### このレビューの知見の意味するところは何か？

ケアファームが生活の質(QOL)、うつ、不安を改善するのに効果的かどうかを決定するエビデンスは不足している。精神的な健康障害のある人たちについては比較的多くのエビデンスが入手可能ではあるが、確かな結論には至っていない。

現在、ケアファームの効果をサポートする強固なエビデンスが不足している。にもかかわらず、メンタルヘルスの問題への主要なアプローチに対する実行可能な代替案または補助案としてケアファームをサポートするような強い議論がある。選択が不足していること、ジェンダーが不平等であること、法定サービスの負担が過多であることは、信頼できる代替の治療の選択肢が必要であるということを示唆している。

ケアファームにかかわるヘルスケアの担当者、最前線のサービス提供者、潜在的なサービス利用者の間で、ケアファームがどのように、そして誰のために機能するかについての認識を高めるための協調した取り組みが必要である。グリーンケアと法定サービスの間のより統合されたアプローチを提供するヨーロッパ中のモデルからは学ぶことが多いだろう。

ほかのサービス利用者のグループにおけるケアファームに関するエビデンスは、メンタルヘルスの問題がある人ほどではないものの、必要がないとはいえない。社会に不満のある若者、罪を犯した成人、認知症の人に関する研究は、現在のサービス提供が非常に大きく脆弱な人口グループの要求には応じにくいことを示している。

したがって、こうした分野における質の高い研究の改善と提供を継続する必要性が強調されている。



AMERICAN INSTITUTES FOR RESEARCH®